

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月26日

協議会名: 三朝町地域公共交通協議会

評価対象事業名: 車両減価償却費等国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
三朝町	小型車両1両の導入	新規	A 計画通り適切に実施された。	A 小型車両を導入することにより利便性の高い運行形態を導入できた。	令和3年10月に運行を開始したばかりであり、今後利用者等からのニーズを適切に把握し、対応を随時検討していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月26日

協議会名:	三朝町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	車両減価償却費等国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>三朝町は、鳥取県中部の山間地域に位置し、面積は233.52km²、人口は6,060人(令和2年度国勢調査)の町である。4つの谷沿いに日ノ丸バス(4条路線バス)が走り、本町民の生活圏域でもある倉吉市に繋がるよう公共交通網が広がっており、車を運転できない高齢者や学生を中心に、生活に必要不可欠な公共交通として機能している。</p> <p>三朝町を含む鳥取県中部地域の公共交通は、少子高齢化や自家用車の普及等に伴い公共交通の利用者の減少が続いており、収支悪化による行政負担の増加や路線バスの減便といった問題が発生し、公共交通を取り巻く環境は今後もますます厳しくなることが予想されている。</p> <p>これに対応すべく策定された「鳥取県中部地域公共交通利便増進実施計画」では、本町の地形上、無駄の多い路線バスの系統を見直し、より効率的な公共交通の確保を目指すもので、生活圏域である倉吉市と本町をつなぐ幹線を三朝線と上井・三朝線に絞り込み、その幹線につながる小河内線及び穴鴨線については、町運営有償運送を運行することによりフィーダー化を実現するものであるが、小河内線及び穴鴨線沿線住民の通院・買い物・通学を継続して確保するためには、新たな町運営有償運送を安定して運営することが重要である。</p> <p>このことから、生活交通確保維持改善計画により、小河内線及び穴鴨線の路線を維持し、住民生活の交通手段としてバスを存続させていくことが必要である。</p>